

遭難事故状況記録書式

日本ハイキング倶楽部

山行名 _____ 女性 _____ 名 記入者 _____
_____ 男性 _____ 名 記入日時 _____ 年 月 日 時 分
_____ 合計人数 _____ 名
リーダー名 _____

遭難事故現場 国土地理院地形図名 _____ 山から _____ 分・Km程度 _____ 方向へ進んだ
ピーク、尾根、谷、鞍部、斜面(東西南北)、岩稜帯、
その他: _____

標高 約 _____ M 付近
現場付近の目印になる物件とその詳細 (GPSで緯度経度わかれば記入のこと)
巨木・巨岩 _____
鉄塔 _____
道標 _____
送電線 _____
避難小屋 _____
三角点 _____
柵 _____
その他: 中継アンテナ、境界杭、池、堰、滝、吊橋など

遭難事故状況 病人・怪我人 氏名 _____ 年齢 _____ 血液型 _____
行方不明者 氏名 _____ 年齢 _____ 血液型 _____
死亡者 氏名 _____ 年齢 _____ 血液型 _____
発見時すでに死亡の場合は: 発見場所 _____
発見日時 _____
発見者 _____

心肺蘇生術を施した場合
開始時間: _____ 日 時 分 終了時間: _____ 日 時 分
心肺蘇生術を施した人の氏名 _____
心肺蘇生術に費やした時間 _____ 分
負傷の明細 打撲 捻挫 骨折 創傷 火傷 凍傷 その他
部位 頭部 顔面 頸部 下肢 上肢 胴体部 その他
出血の有無 無 有 止血帯使用の有無 有 無
骨折の状態 開放 非開放 複雑 止血開始時間 _____ 時 分
発病の場合 症状の概要 食中毒、高所順応障害、熱射病、虫垂炎、心臓、脳など。

意識の有無 有 無 体温 _____ 度 分
行方不明となった日時 _____ 日 時頃 携行食糧・水の量約 _____ 食分
遭難事故・負傷・発病の概況

緊急避難先の状況(丸で囲む)
テント ツェルト 避難小屋 雪洞
樹林帯の下 巨岩の下 洞穴 露天

通信手段 アマチュア無線 コールサイン _____ 周波数 _____ Mhz
携帯電話 番号 090 - _____ 所有者氏名 _____
予備電池 約 _____ 本

装備品 テント _____ 人用、ツェルト、ヘッドランプ、テントマット、ガス _____ 本、メタ _____ 個、
コップ、食器、懐中電灯、医薬品、ロープ mm径 m、
食料 _____ 人分 _____ 日分、水 _____ Ltr

その他特記(連絡)事項 _____ ヘルコプター要請の有無 _____ 遭難対策マニュアル _____

伝令用として使用する場合は、必ず登山計画書を添付すること。